

企業で取り組む環境経営 エコアクション 21 vol.15

エコアクション21で培った
環境対策をベースとし
時代が求める水準に
海外展開も実現

お話を聞きしたのは
大石金属工業 株式会社
代表取締役社長
おおいし よしひさ
大石 嘉久さん



熱源となる機器を風通しが良いところに設置してオーバーヒートを防止するなど、小さな工夫も。

「エコアクション21に
取り組まれたきっかけは？」

通信機器や自動車などの大手取引先から環境経営が求められるようになり、エコアクション21（以下E A 21）の取り組みを始めた。認証を取得していることで、従来の取引先はもちろん、新規のお客さまにも安心してパートナーに選んでいただけていると実感しています。

「E A 21の取り組みを始めて
良かったことは？」

時代とともに環境基準が多様化する中で、法令や具体的な対策などを審査員からアドバイスしてもらえるのは大変ありがたいです。監査が多い業界なので、E A 21の取り組みにより、日ごろから法令を理解し遵守する基盤が構築できたのも収穫です。近年はアパレル業界でも環境対策が求められています。禁止物質や表示項目が複雑化していく中で、電子部品の分野で培った環境経営スキルが大いに役立っています。取引先には世界展開しているブランドも多数あります。欧米諸国の要求水準は高く、E A 21

をはじめとした環境経営の基盤があるから対応できています。いっても過言ではありません。



肉眼で行っていた品質管理を自動測定器に変更。精度が上がるとともに効率化と省エネに。

「CO₂の排出量削減の取り組みを
教えてください。」

水銀灯・蛍光灯をLED化し、エアコンや工場内の機器を省エネタイプへ転換することでCO₂排出量の大幅な削減が実現しました。また、審査員からのアドバイスで毎月機器の点検を実施し、過負荷運転を予防。担当者の点検スキルの向上や品質の向上につながっています。さらに、素材調達から出荷までの生産会議・品質会議を毎日行っています。生産量などを前日に決め、緊急納品を低減。ガソリンの使用量が大きく減りました。金型の改善会議も定期的を実施。品質と生産効率を向上させることで、廃棄物の削減にもつながっています。

「今後の課題を教えてください。」

これからの時代、環境対策への要求はますます高く、複雑なものになっていくでしょう。法令の理解や情報収集に人材を投じる必要があります。E A 21の取り組みやレポート作成は人材育成にも有効です。時代の流れに対応できる組織づくりがE A 21を活用してきたいです。



生産会議・品質会議を毎日行うことで緊急納品を低減。

大石金属工業株式会社

所在地 〒537-0022 大阪市東成区中本5-14-18(本社工場)
〒708-1306 勝田郡奈義町西原380-38(岡山工場)

従業員数 138名(全社) 認証・登録日 2009年3月

金属プレス加工の技術で、アパレル関連のパーツ、自動車や通信機器などの電子部品を生産しています。

エコアクション21

環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証し登録する制度です。



エコアクション21

エコアクション21 地域事務局岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾665-1 Tel 086-298-2122 Fax 086-298-2496
Mail ea21@kankyo.or.jp http://www.kankyo.or.jp